

# 外山啓介 & セントラル愛知

— 若手ピアニスト —

## 「ビューティフル・クラシック」

今回は、オーケストラを紹介します。

### 【セントラル愛知交響楽団プロフィール】

- 1983年：名古屋シティ管弦楽団として発足
- 1999年：松尾葉子氏（女性初のプザンソン指揮者コンクール優勝者）を常任指揮者に迎え、斬新な企画が話題に
- 2004年：音楽監督に小松長生氏、正指揮者に古谷誠一氏、首席客演指揮者に松尾葉子氏を迎え、新たな活動を開始
- 2007年：文化庁国際交流支援事業・中国蒙古自治区で海外公演
- 平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞受賞 ●平成16年度名古屋市芸術奨励賞受賞

創立 25 周年を迎えたオーケストラの充実感あふれる音をお楽しみください。

と き 3月30日(日)午後3時開演

と ころ サンホール

入 場 料 一般2,000円 学生1,000円 ※当日500円増

※未就学児の入場はできません。

全席自由



【セントラル愛知】  
泉町出身・高橋律也氏（コンサート・マスター）  
のソロ演奏を予定!

大好評発売中!

チケット取扱窓口

文化プラザ窓口・チケットぴあ(☎0570-02-9999 Pコード:277-341)  
各支所・市内郵便局・多治見市文化会館・瑞浪市総合文化センター

図書館だより

# 読書の小径

こみち

No.57

市図書館 ☎ 55 1253



幸せな  
暮らしとは…

今日の暮らしは、モノのな  
かった時代と比べれば確かに  
物質的に豊かになった。代わ  
りに何か大切なものを失って  
しまっていないだろうか。

大ヒットした「ALWAYS  
三丁目の夕日」は、昭和30年

代の家族ドラマである。「1  
台のテレビに群がる近所の人

々、氷で冷やす冷蔵庫、穴の  
あいたセーターは母親がひじ  
当てをして着せてやる」。少

し不便な方が助け合いながら  
工夫した暮らしをしていた。

まずは自分の暮らし方を見つ  
め直してみたらどうだろうか。

『始末な暮らし』

安部絢子著

著者は、消費生活アドバイザーを務め世界の暮らしを研究している。アレもコレも欲しい時代のころ、あふれた物を持って余すような時代、

そして人は始末の大切さに気が付くのではないだろうか。  
著者は、現代の若い人たちにどうしても伝えておきたいと  
始末する方法を提案している。

人生の手引書と言っても過言ではない読み応えがある。

『信州 四季の暮らし 季節の味』

山本麗子著

あこがれの新天地での暮らしをつづった1冊である。第

二の人生の舞台をなぜ信州に求めたのか。夢をあきらめず、あせらず感謝しながら都会にはない田舎で見つけた幸せですてきな暮らしを、美しい写真と農作業の奮闘ぶりを紹介する。料理レシピもシンプルで作りやすいことが最大の魅力の1冊である。

『陰曆 暮らし』

千葉望著

年中行事を新暦か、旧暦で行うのか戸惑ったことはないだろうか。日本はなぜ旧暦を捨ててしまったのか。そんな

嘆きを持つ著者の日本の自然と新暦の「ずれ」を考察した記録である。おなじみの忠臣蔵のことからお茶、着物に至るまで日本の文化をまるごと再確認する貴重な1冊である。

## 2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

※ が休館日です

図書館の 開館時間	火～金曜日	10:00～19:00
	土・日曜日、祝・休	10:00～17:00



※図書館のご利用は無料です。